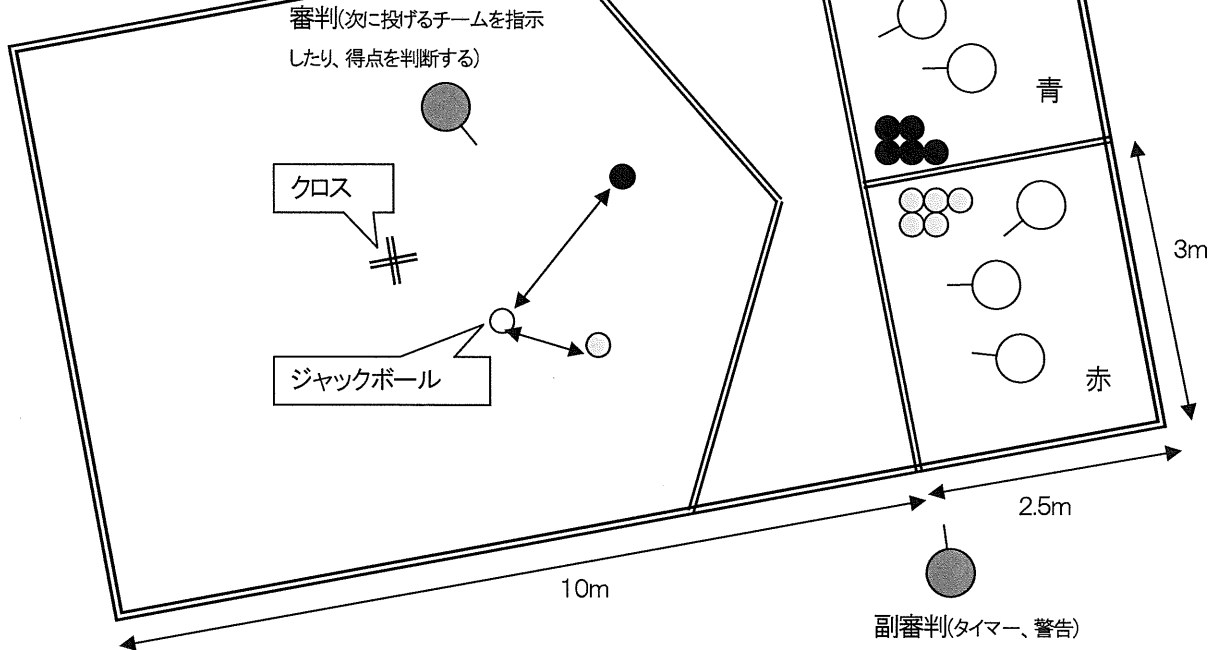


ゲームボッチャ

ジャックボール
無効ゾーン

スローイングボックス

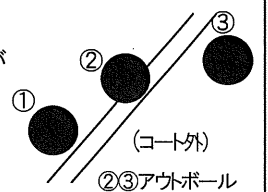


《ルールとゲームの流れ》

- ・1チーム2～3名(3名の場合は、障害者が2名以上であること)の団体戦で最大6回戦(6エンド)行う。
各チームの持ち時間は1エンド6分以内。1ゲームの時間は55分とする。
- ・相手サイドの指示板の時に投げてはならない
→「注意」(※正式なゲームではペナルティをとられます)。
- ・スローイングボックスの中であれば、どこから投げてよいが、ラインを踏んで投げてはならない
→「注意」(※正式なゲームではペナルティをとられます)。
また、どこに投げるかチーム内で相談してもよい。
- ・投げたボールが無効ゾーンに止まったり、コート外に出たらアウト。
- ・ジャックボールがコートの外に出されたら、クロスに戻る。
- ・相手のチームが投げる時に、相手チームの邪魔になるようなことをしてはならない
→「注意」(※正式なゲームではペナルティをとられます)。

※アウトの例…

ボールの接地面が
ライン上にある
(コート内)



(コート外)
②③アウトボール

- ①ジャンケンで先攻(赤ボール)、後攻(青ボール)を決める(※2回戦は青が先攻になる)。
チーム内の投げる順番を決めておく。
- ②赤の1番の人がジャックボール(白ボール)を投げる(※無効ゾーンに止まったり、コート外に出てしまったときは、相手ボールとなり、青の1番の人が投げる)。
- ③赤の1番の人が投げ、青の1番の人が投げる。次に、ジャックボールに近いボールが赤であれば、青が投げる(※上の図)。
- ④以後同様に、ジャックボールに一番近いボールではないチームが投げていく。
- ⑤全員が投げ終わったら、得点をつける。
- ⑥①～⑤を繰り返し4エンドの合計点で勝敗を決める。

※得点の数え方

- ・ジャックボールに一番近いボールを投じたチームが勝ち。
- ・負けたチームの一番ジャックボールに近いボールよりもジャックボールに近いボールが点数となる(※図は赤が2-0で勝ち)。

青(負け)の一番近いボール

